

松田美緒 トーク & ミニライブ

クレオール・ニッポン うたの記憶を旅する

2015 **12・5** SAT 14:00 ~

立命館大学衣笠キャンパス 以学館1号ホール

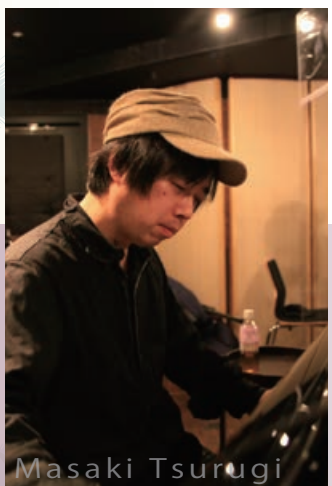
14:00~トーク

15:00~ミニライブ

出演 松田 美緒(うたとトーク)
鶴来 正基(ピアノ)
渡辺 享(パーカッション)
司会 加國 尚志(立命館大学文学部)

事前申込不要

入場無料



問合せ先
立命館大学人文科学研究所
京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学衣笠キャンパス
TEL (075) 465-8225



主催：立命館大学衣笠総合研究機構人文科学研究所
重点研究プロジェクト・「暴力からの人間存在の回復」研究会

「歌をめぐる物語から、多様な日本が見えてくる。」

(松田美緒『クレオール・ニッポン うたの記憶を旅する』より)

ポルトガルやブラジルの音楽を歌い、世界で活躍する歌手、松田美緒さん。2014年12月に発表したCD+BOOK『クレオール・ニッポン うたの記憶を旅する』では、忘れられていた日本の各地の歌、かくれキリシタンに歌いつがれてきた歌、移民としてハワイやブラジルに渡った人々の歌などを、フィールドワークの記録とともに紹介しました。

これらの歌から伝わるのは、現代日本では忘れられたような山村で生活する人々、遠い外国で移民として働いた人々、宗教的に異なる伝統を守りつづけた人々の生活の喜びや哀しみ、愛や笑い、労働のつらさや信仰の慰めなどであり、それらの伝承歌に浮かび上がる「日本人」の多様な姿です。

松田美緒さんはこのような「混在し、拮抗し、融和するルーツ」を、拡張された意味での「クレオール」と呼んでいます。それは、単一的な日本文化という幻想に対抗し、歴史的にも空間的にも混合的・分散的で、「多様性」(マルチチユード)を生きる民衆の姿そのものでもあると言えるでしょう。

今回の講演会とミニライブでは、『クレオール・ニッポン』に収録された曲を中心に、フィールドワークの体験談や曲の解説をお話いただき、さまざまな土地に生きる民衆の歌の実演を通じて、音楽と人間性の回復について考えたいと思います。



松田 美緒

Mio Matsuda

土地と人々に息づく音楽のルーツを魂と身体で吸収し表現する”現代の吟遊詩人”。その声には彼女が旅した様々な地域の魂が宿っている。ポルトガル、ブラジル、ウルグアイ、アルゼンチン、ベネズエラ、ペルー、カーボヴェルデなどポルトガル語・スペイン語圏の国々で、ウーゴ・ファトルーソ、カルロス・アギレラなど現地を代表する数々のミュージシャンと共演。南米やヨーロッパ、韓国など世界各地で公演を重ねている。2005年にビクターよりデビューし、以来5作のソロ・アルバムを発表。2014年、3年がかりのライブとフィールドワークの集大成として初のCDブック『クレオール・ニッポン うたの記憶を旅する』を発表。ブラジル・ハワイ移民の歌を含め、日本各地の忘れられた歌を現代に瑞々しく蘇らせた作品は高い反響を呼び、文藝春秋「日本を代表する女性120人」に選ばれる。2015年、バリの高等社会学研究所の国際シンポジウムに招かれ、5月にはギリシャでも公演。第2回ヘテロトピア文学賞特別賞を受賞。公式HP <http://www.miomatsuda.com/>



鶴来 正基

Masaki Tsurugi

松田美緒「日本のうた」プロジェクトにおいて不可欠なピアニスト。学生時代に[VARIETE]のメンバーとしてデビュー。ピアニスト、作曲家として現在にいたる。緻密に構成された録音物と即興性の強いライブが対照的である。歌を際立たせる伴奏にも定評があり、加藤登紀子、ピエール・バルネ、Sandii等、多くの歌手の信頼を得ている。最近では、The Boom、畠山美由紀等のコンサートやレコーディングに参加する他、現代美術家 会田誠の映像作品に楽曲を提供するなど幅広い活動を続けている。2014年秋、メンバーとして参加しているユニット『エロヒム』初のスタジオ録音 CD [NIGHT SAFARI issue1] をリリース。



渡辺 亮

Ryo Watanabe

武蔵野美術大学卒業。E.P.O.、Yae、鈴木重子、松田美緒、あがた森魚、スーザン・オズボーンなど、さまざまなアーティストとのコラボレーション、レコーディングに参加。自己の活動として、創作楽器や絵画を加え、総合的な音楽・美術を制作している。佐渡「鼓童」アースセレブレーション、芸術文化交流館いわきアリオス、など日本各地で、パーカッションと美術のワークショップを行っている。ソロ・アルバムに「ウォレス・ライン」「モルフォ」、著書に「レッツ・プレイ・サンバ」(音楽之友社)。青山「こどもの城」講師、東京学芸大学非常勤講師。松田美緒の『クレオール・ニッポン』ではイラストも担当する。公式HP <http://www.ryo-watanabe.com>

